

毎日奮闘「大黒柱」に感謝



国認定「従業員の子育てサポート企業」

イクメン パパ 紹介

NPO法人ハートフル

高橋 大吾さん(37) = 山名町

家事と育児 半々

「今が一番かわいい」と公園で遊ぶまな娘2人を見守りながら目を細める。妻のみどりさん(35)との間に、和果さん(6)、泉ちゃん(3)の2人を授かった。次女が生まれた2009年7月から、育休、時短を利用して子育てに励んできた。ことし4月から事務職の通常勤務に戻り、「忙しい日々」を送る一方、育児に積極的に携わって「子どものことを母親と同じ土俵で話ができるようになった」と満足そう。

勤務するNPO法人ハートフル(石原町)は、介護事業など総合的な福祉サービスを提供する。05年に入社して1年後に長女が生まれると、看護師の資格を持ち働く妻と「家事と育児は2人で半々でやろう」と決めた。初めての育児で。「男で分からないことばかり」の中で、夜泣きするたびに起きて抱っこするなど奮闘が始まった。

2人目が生まれると、「産むこととおっぱいをあげる以外なら男でもできる」と中心になって育児することを決意。同法

人の桜井宏子理事長に相談すると、「ぜひやってください」と促された。

勤務時間を短縮

デイサービス施設の責任者をしていましたが、事務職に配置転換してもらった。勤務時間も通常9時～17時を15時までに短縮。勤務後は子どもを保育園へ迎えに行き、スーパーで食材を買って夕飯を作り、子どもに食べさせ、風呂に入れて寝かせる毎日。育休は5日間取った。主夫を経験して「世の中のお母さんはすごい。これをみんなやってきたのか」と感心する。

娘2人に父親の好きなところを聞くと、和果さんは「抱っこしてくれるところ」、泉ちゃんは「ブランコを押してくれるところ」と無邪気に話す。

自分の父親については「比較的ルールには厳しかったが、日曜日には車でいろいろなところに連れていってもらった」と振り返る。自分の子どもにも「ルールをきちんと教え、将来は人のことを考えて行動できるように人になってほしい」と願っている。

6月第3日曜日(16日)は、父親に感謝の気持ちを表す「父の日」。日頃から家の大黒柱として頑張ってくれるお父さん。近年は育児に積極的な「イクメン」パパも注目されている。「従業員の子育てサポート企業」として国に認定された市内企業から、育児休暇(育休)や時間短縮勤務(時短)などを利用して子育てに励むイクメン2人を紹介する。感謝の気持ちを込めてプレゼントも贈りたい。

お母さんはすごい



公園で遊ぶ和果さん、泉ちゃんを見守る高橋さん

16日は父の日